

## 4 - 8 佐渡弥彦地方における地殻変動 (6)

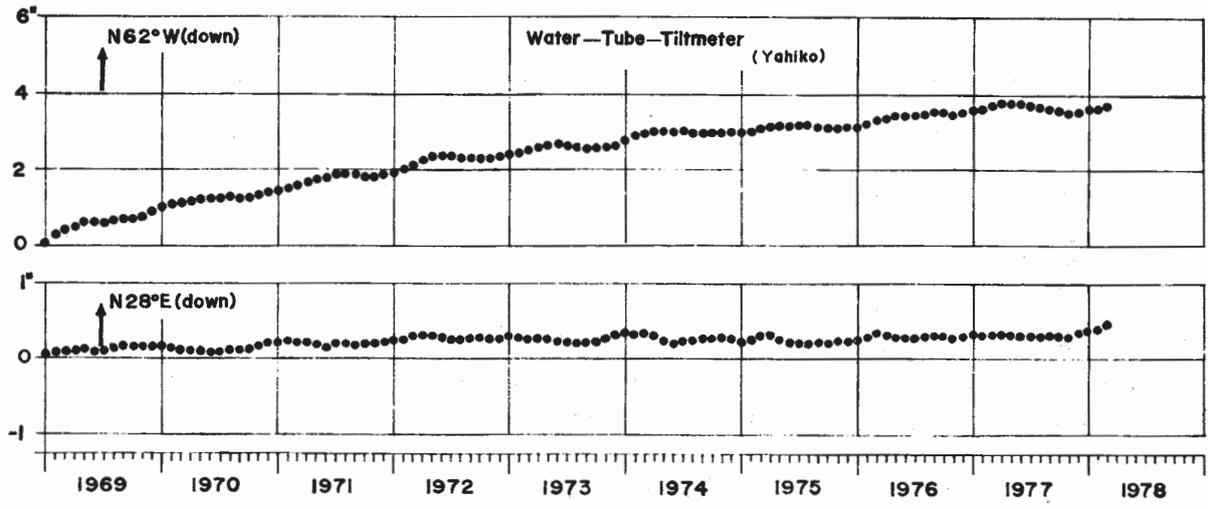
### Crustal Movements in Sado-Yahiko District〔6〕

東京大学地震研究所弥彦地殻変動観測所  
Yahiko Crustal Movement Observatory,  
Earthquake Research Institute,  
University of Tokyo

前5報に引続き、1978年2月までの観測結果を報告する。

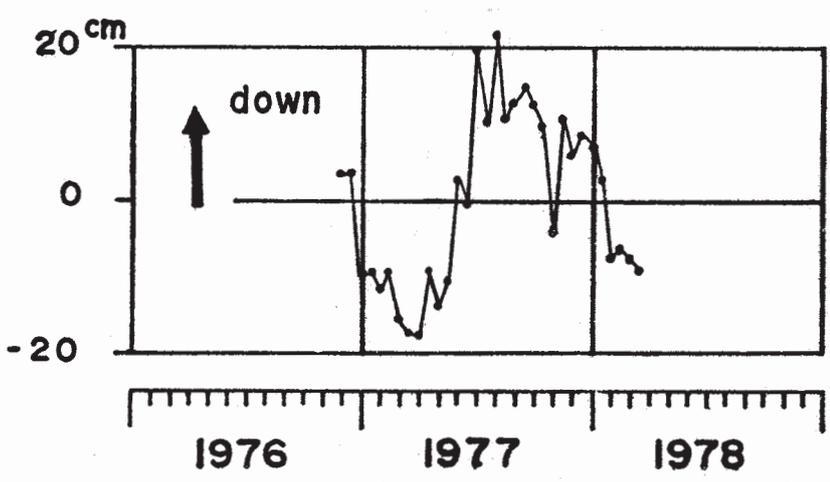
1. 第1図は弥彦観測所における土地傾斜の経過(月平均値)である。その後も格別の異常は見出されていない。
2. 1976年11月より寺泊港で検潮を開始した。第2図は現在までの状況を半月平均値で示したものである(気圧・水温等未補正)。同港にある検潮儀(フース型)を当所の利用に供された新潟県土木部に謝意を表する次第である。なお従来観測を続けていた間瀬港内の簡易検潮儀は都合により撤去した。
3. 小木半島宿根木(佐渡)の隆起海岸においては毎年1回オートレベルによる簡易傾動測量を繰返している。第3図はその読取値、第4図はその値から求めた傾斜ベクトルの軌跡である。いずれも特に大きな変化は見られない。観測開始いらいの実績によれば、3秒角以上の傾動はこの方法でどうにか検出できそうである。

(笠原慶一・若杉忠雄)



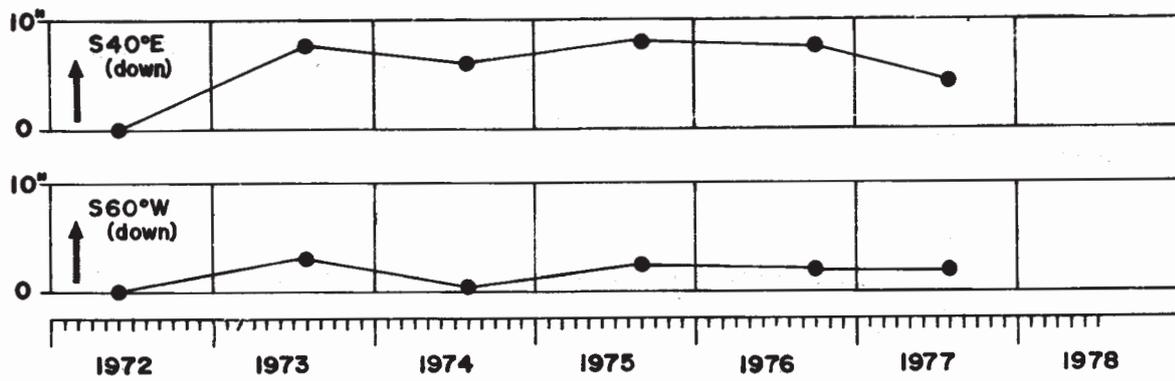
第1図 弥彦における水管傾斜計の月平均値

Fig. 1 Ground tilt at Yahiko (monthly mean value, water-tube tiltmeters).



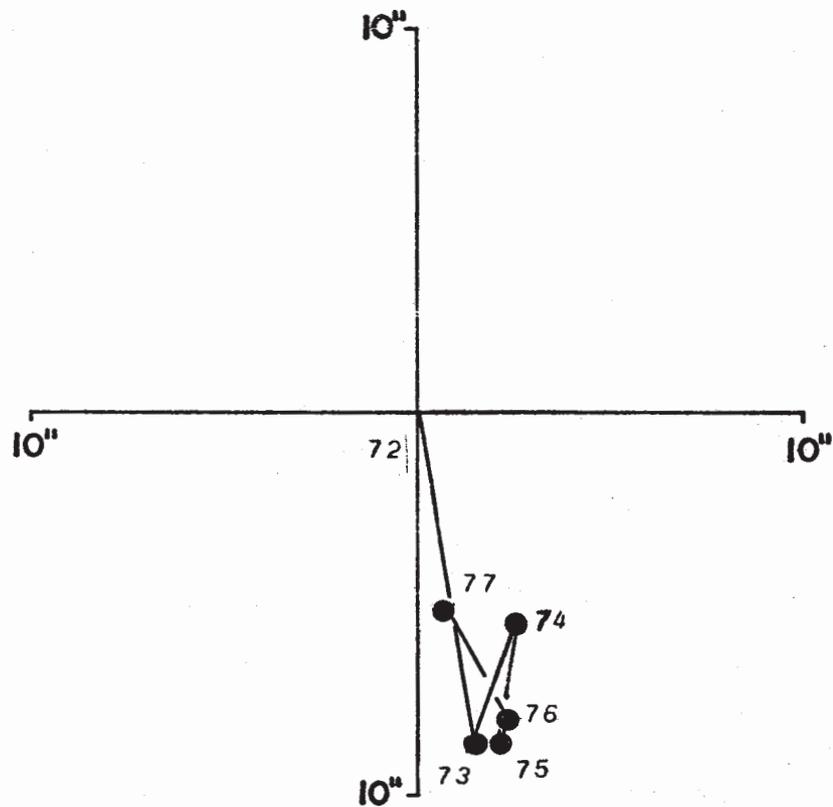
第2図 寺泊における潮位変化(半月平均値)

Fig. 2 Sea-level change at Teradomari (semi-monthly mean value).



第3図 小木半島宿根木（佐渡）における簡易傾動測量

Fig. 3 Ground tilt at Shukunegi, Ogi Peninsula, Sado (quadrilateral short-range leveling).



第4図 前図資料から求めた傾動ベクトル

Fig. 4 Tilt vectors as deduced from the previous data.